

第6章 地域住民ワークショップ 開催概要

1 知立市地域ワークショップ開催報告(牛田町)

■開催状況

地域福祉計画の策定にあたり、地域住民の皆さんの生の声を計画づくりに反映させるとともに、今後の地域活動の促進に向けた取り組みとして、牛田町において、全3回にわたる地域ワークショップを開催しました。

毎回約20名の方にご参加をいただき、A・Bの2グループに分かれての話し合いを通じて、親睦を深めていただくとともに、今後の地域活動に向けたアイデアを出し合い、検討結果を取りまとめていただきました。

■日程と検討内容

	検討内容
第1回 平成23年12月1日	「地域の良いところ、悪いところ」を話し合おう
第2回 平成24年1月20日	「分野別の課題と地域の取り組み」を話し合おう
第3回 平成24年1月27日	「地域活動の工夫・アイデア」を話し合おう

【検討結果の概要】

全3回にわたるワークショップ形式による地域住民の話し合いにより、地域のつながりや交流の大切さが多く話し合われ、「子ども・子育て」「高齢者・障がい者」「防犯・防災」「外国人」等に関する課題が出されました。

今後の地域活動に向けては、「子ども・子育て」分野として、親子で参加する交流の機会や子どものための児童館、公園のあり方、「高齢者・障がい者」分野として、近所の高齢者や障がい者を知るための方法や機会、老人憩いの家やサロンのあり方、「防犯・防災」分野として、さらなる充実に向けた防犯パトロール、多くの人が参加しやすい防災訓練、「外国人」分野として、国籍を超えて誰もが参加しやすい地域行事等が検討発表され、取りまとめられました。

2 第1回知立市地域ワークショップの検討結果

第1回ワークショップでは、地域の良いところ、地域の悪いところについて、自由に意見を出し合い、検討していただきました。

地域の良いところ

牛田町A

マナーが良い。小学生とのあいさつは多い。

地域の人が、子どもたちにやさしくして下さる。

親との同居、実家が近いなど頼れる人が多い。

牛田駅の駐輪場が整理されている。

子どもの見守り

はぐくみ隊がある。

近所の方が良く声をかけてくれる。

子どもたちを守る「はぐくみ隊」など、安全防災に対する「しくみ」が良い。

交通（電車、ミニバス、バスなど）が便利である。

地域の仕事等で、代表人に選ばれば、皆、真剣にやってくれる。

環境

牛田町の社口公園に照明がついて明るくなった。

働く職場が沢山あり、失業率が低い。

災害に対する意識が高い。

要援護者支援が進んでいる。

防災

地域行事がある。（運動会、盆踊り、防災訓練、お祭り文化祭など）

地域参加

過去のよき伝統を守ろうとする人が多い。

子ども会、町内会をととしての地域のつながりがある。

地域の良いところ

牛田町B

三世代の交流がある。

地域に根付いたつながりが強い。

隣近所が仲良しである。

地域住民とのつながりが良い（近所づきあい）

地域社会がしっかりあると思う。

つながい

町行事に参加が増えた。

地域の連帯感が良い。

内心は解らないけど、おおらかで気にしない。

静かで落ちついて生活ができている。

環境

静かで住みやすい。

川があり、自然に恵まれている。

学童への配慮が行き届いている。

通学時の交通安全支援がある。

はぐくみ隊

児童の見守り（はぐくみ隊など）がいる。

児童と毎朝かわすあいさつは、段々と大きい返事になり良い。

良いあいさつができて明るい。

児童が明るい。

あいさつ

地域の悪いところ

牛田町A

高齢化

若者を集める町のセンスがない。

子どもが少ない。

町内の中心部での高齢化、少子化が急速に進んでいる。

交流

隣近所との交流が少ない。

中学生とのあいさつが少ない。

世代間の交流が少ない。

環境

ゴミの散乱に対して、個人々の関心が少ない。

治安が少し悪い。

言葉づかい

使ってはいけない言葉を平気で使う人がいる。

意識

個性的であり、改革という気持ちが薄い。

地域の悪いところ

牛田町B

参加まっぴーす

地域の行事や活動に参加する人がかたよっている。

新たに転入してきた人たちとお付き合いが、まだうまくいかない。

意識

交通マナーが悪い。

交通マナーが悪い人がいる。

交通

市域が南北に3キロあり、国道1号線等でまちが分断されている。

市道の交通が増加して、住民生活に影響が出てきた。

交通機関が不便。

環境

未だ暗い箇所が多い。

街灯が少ない。

下水道

下水道の整備が遅れている。

高齢化

お年寄りが多い。

道路計画

道路が狭い。

道幅が狭いところがある。

3 第2回知立市地域ワークショップの検討結果

第1回地域ワークショップでは、子どもの見守りなど、地域のつながりや交流の大切さ等について、広くご意見をいただきました。

それらを踏まえ、第2回ワークショップでは、分野別の地域課題と、解決に向けた地域の取り組みを考えていただきました。「(1)子ども・子育て」「(2)高齢者・障がい者」「(3)防犯・防災」「(4)外国人」について、グループでの話し合いを通じて、自由なアイデアを出し合っていました。

(1)子ども・子育て

どのような問題があると思いますか？

(2)高齢者・障がい者

(3)防犯・防災

(4)外国人

どのような地域活動があるとよいと思いますか？



(1) 子ども・子育てについて

牛田町A

(1)-1 子ども・子育てに関する地域課題へのご意見

子ども同士が公園で遊んでいない。	子どもが遊べる公園等が少ない。 遊具が少ない。
保育園児と幼稚園児と友達付き合いが無い。	ポールで遊べる公園が欲しい。
地域によって、子ども増加や減少があり、アンバランスで子ども会活動による支障がある。	もっとたくさん子どもとあいさつさせたい。
見守りは必要。 指導が必要。 善悪に関するアドバイスが必要。	各子ども会の人数の差があり管理にばらつきがある。 通学路の表示が少なく分かりにくい。
あらゆる年代が集まり遊べるような場所がない。	少子化等で先行きが不安。 ゲーム熱中や引きこもりが多い。 人の痛み分からず。
夫婦共働きが増加し、カギっ子が心配。	
児童館での面倒を四年生までしか見てもらえない。(働いている親の意見)	

(1)-2 子ども・子育てに関する地域活動へのご意見

日本の将来にかけり、サバイバル、人間の生死をゲーム化している。

各子ども会のバランス化が必要。市と話し合い。表示の充実が必要。

子ども会の資源収集をPTA収集のように家庭ごとにすれば大量に集めることができる。

まずは高齢者の人から、積極的にあいさつするように。

公園に少しスポーツ道具を置く。

保育園児・幼稚園児と交流会を開く。

子育て支援センターの充実・増設。

予算があれば、作ってもらうようにお願いする。

牛田町B

(1)-1 子ども・子育てに関する地域課題へのご意見

前段階として、結婚しない男女が多すぎる。	あいさつする子と、しない子がはっきりしている。
通学時に集合時間が守れないときに、連絡がない。	ゲーム遊びに熱中しがちな子どもが多い。
子どもとともに行動することが少ない。	共働きが多いため、家庭教育(躾)が十分にできない。
地域で子どもの交流(遊ぶ)機会が少ない。	昔も今も同じ。 危険を感じていない。 親の過保護。
近所の子どもでも親の顔が良く分からない。(親子で外にいないことが多い)	親子の会話が少なくなっているように思う。

(1)-2 子ども・子育てに関する地域活動へのご意見

市として婚活事業を進めてはどうか。

児童館が行うような、子ども預かり場。

少しでも自然の中で遊ばせてあげたい。

親子で参加できる行事を多くつくる。

親子で参加できるような行事など、町で計画することもよいのではないかな。

(2) 高齢者・障がい者について

牛田町A

(2)-1 高齢者・障がい者に関する地域課題へのご意見

老人クラブへの加入に消極的である。	買い物できる場所が無い・少ない。	日本全体高齢化、自分も高齢者の一人。人の触れ合い・生きがい大切。	高齢者への声掛け・話し合いが少ない。
町内中心地での高齢化が急速に進んでいる。活気がなくなってきている。	老人だけの世帯が増加してきている。組長ができない世帯も生じて来ている。	障がい者の方に対しての設備は整っていない。	近所の方の声が少ない。



(2)-2 高齢者・障がい者に関する地域活動へのご意見

障がい者も含めた高齢者のサロン等があると良い。 (他町には有)	要援護者制度の充実化をはかり、地域とのつながりを向上させる。	隣との付き合いで防災の事を話し合う。	障がいがあると引っこんでしまう。
各地において、現在組長以外に、高齢者等の様子を見る。人を各地に設ける。	障がい者に携わる人の待遇を良く。重労働の割に低賃金である。	老人会の人々が訪問して勧誘する。	老人クラブ・いこいの家の充実。高齢者向けの障がい者学習の充実。
		隣との付き合いがない。	

牛田町B

(2)-1 高齢者・障がい者に関する地域課題へのご意見

交流場所である、老人憩いの家の利用（参加者）が少ない。	高齢者が地域で交流する場が少ない。年齢が高くなるほど、家に閉じこもる。	元気で、仕事（やる事）が無い人が多い。	障がい者の情報が（個人情報のため）わからない。
訪問しても最初は取り合ってもらえなかった。うちとけるのに時間がかかった。	近隣の高齢者が良く分からない。	自由に楽しめる場所がない。	



(2)-2 高齢者・障がい者に関する地域活動へのご意見

ボランティアの募集。ボランティアの準義務化。	サロン活動で食育、月一でも。	利用目的が談話だけでなく、以後、将棋などゲームも取り入れる。
	公共施設があると良いが。	

(3) 防犯・防災について

牛田町A

(3)-1 防犯・防災に関する地域課題へのご意見

狭い道に一部、防犯灯がないところがある。	街灯が少ない。	地震対策が不十分な状態が続いている。	近所の方の声や小学生のあいさつが少ない。
細く込み入った道が多い。	街灯がついていない。防災において安全な場所に逃げられるかを検討されているか、疑問。	町内に、ミニバトの配置。	ポイントの地点に防犯カメラの設置。
自分の家で緊急持ち出し物は、家が倒れても持ち出しできるか疑問。	防災訓練の仕組みは充実したが、参加人数が少ない。	地域のコミュニケーション。隣人との日ごろから一声かけ合い。	車上荒らし、自動車泥棒がなかなか減らない。



(3)-2 防犯・防災に関する地域活動へのご意見

一軒一灯運動。	予算をもっと増やしてください。	一日の始まりは「おはようございます」で始まりませう。あいさつしよう。	参加の呼び掛けの拡大。参加型の防災訓練づくり。組長が呼びかけ。
人口・世帯数の増加に伴い、あいさつがない。隣は何する人ぞ。	自分の家での訓練が必要。	離れ屋に常に保管しておく。	

牛田町B

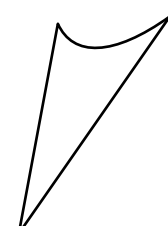
(3)-1 防犯・防災に関する地域課題へのご意見

自転車マナーが悪い。(特に中高生)	夜、暗い所が多く怖い。	暗くて、独り歩きが怖い。	夜間のパトロールが、必要ではないか。
防災訓練の参加者が少ない。(どんな行事でも参加する人は同じ。)	危機意識が薄いような気がする。	空き巣が多いが、情報が広がらない。牛田でも毎月あるみたいだ。	防災無線が団地内に無く、聞こえにくい。



(3)-2 防犯・防災に関する地域活動へのご意見

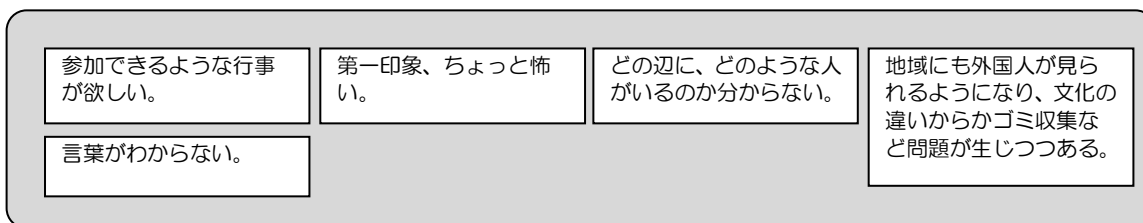
学校での教育 各団体での集会・講習の実施。	パトロールがあると良い。	青パトの充実が必要。
無線を新設して欲しい。	各自で笛・杖の持ち歩き。	防災防犯訓練に多くの方の参加。



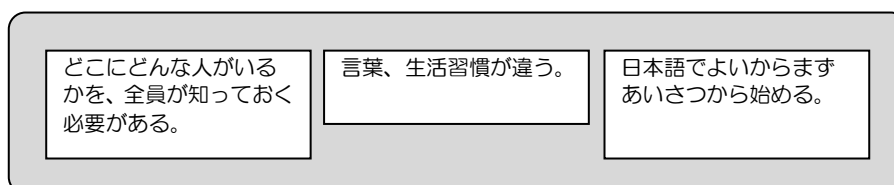
(4) 外国人について

牛田町A

(4)-1 外国人に関する地域課題へのご意見

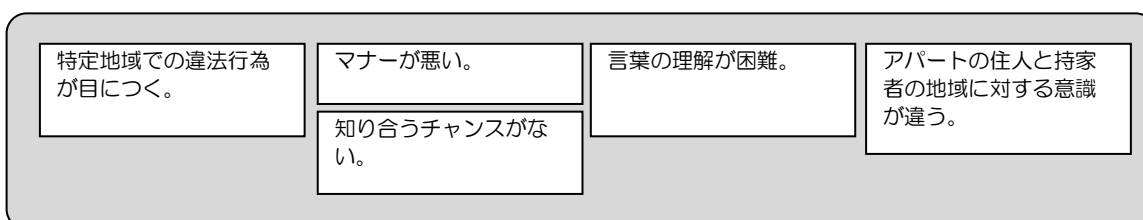


(4)-2 外国人に関する地域活動へのご意見

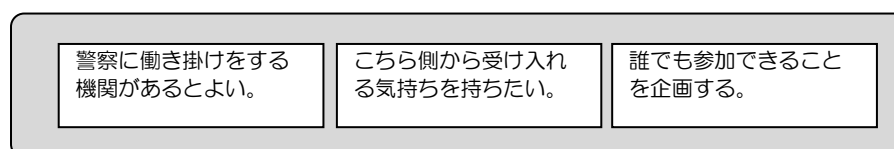


牛田町B

(4)-1 外国人に関する地域課題へのご意見



(4)-2 外国人に関する地域活動へのご意見



4 第3回知立市地域ワークショップの検討結果

第3回地域ワークショップでは、「(1) 子ども・子育て」「(2) 高齢者・障がい者」「(3) 防犯・防災」「(4) 外国人」について、今後の地域活動について、さらにアイデアを出し合い、検討結果を取りまとめていただきました。

(1) 子ども・子育て

- ⇒親子で参加する交流の機会を考えよう
- ⇒子どものための児童館や公園のあり方を考えよう

(2) 高齢者・障がい者

- ⇒近所の高齢者や障がい者を知る方法や機会を考えよう
- ⇒憩いの家やサロンのあり方考えよう

(3) 防犯・防災

- ⇒さらなる充実に向けて、防犯パトロールを考えよう
- ⇒多くの人に参加しやすい防災訓練を考えよう

(4) 外国人

- ⇒国籍を超えて、誰もが参加しやすい地域行事を考えよう

どのような
地域活動があると
よいと思いますか？
さらに、アイデアを
出し合いましょう！



(1) 子ども・子育てについて

【主な課題】

- 地域で子どもの遊ぶ機会が少ない。
- 親子のふれあいや躰が足りない。
- 子どもの遊ぶ場所が少ない。 などのご意見があげられました。



【みんなで考えよう】

⇒ **親子で参加する交流の機会を考えよう！**

～ どのような交流の機会があるとよいと思いますか？ ～

⇒ **子どものための児童館や公園のあり方を考えよう！**

～ 児童館や公園を、どのように活用したらよいと思いますか？ ～



(1)-1 親子で参加する交流の機会を考えよう

※以後A、Bグループを合わせて、表記しています。

親子で参加する行事が少ないと思います。	子ども会等で親子活動を企画する。	子ども会でも親子で出来る行事を行う。	親子でボランティア活動の実施。 1.缶ひろい 2.ゴミ拾い
登下校時のあいさつを交わす。 多くの人が行うこと。	子ども会など工事の集合場所の清掃を親子でやる。	子ども向けのゲーム等を親が考えて実施すると良い。 (紙芝居、音楽会、囲碁、将棋、釣り)	小学校にも部活を作る。
子ども会のイベントを増やす。 (キャンプ等)もちつき	空き缶集めや公園の清掃を親子や地域が参加してやる。	通学路及び災害避難道の散策。	空き缶拾いゲーム大会。
親子で一緒に一つのものを作り 例えば、手芸工作など	定期的に親子ウォーキング。	一か月に二度くらい、親子で行えるゲーム的な行事を開催する。	定期的に皆で簡単に出来る事をする。(体を動かす)
おこしもの作り 七夕祭り もちつき	ペタンク・グラウンドゴルフの軽く動く競技・球技。	牛田町ルールのカーリング大会の定期大会の運営に子どもを参入させる。	

(1)-2 児童館や公園のあり方を考えよう

簡単な催しを行う。	誰でもイベントで使えるようにする。	食事で子どもを誘い込む(バーベキュー)。	公園施設の魅力化・充実化を図り、子どもが自然に増えるようにする。
子ども会にお願いして清掃にて、公園の良いところを知ってもらう。	児童館の利用制限を緩くする。	子どもたちが主体で企画し、公園等を利用するイベントを考える。	公園の管理をボランティアで行う。 (周囲の清掃、トイレの清掃)
公園を平地化してボール遊びができるようにする。	児童館で七夕祭りがおこなわれ、賑やか。他に行事を一つでも取り入れたら。	児童館の解放があると良い。	公共施設の利用説明を明確にして利用の活性化。
センター20歳未満クラブ就学児童。			

(2) 高齢者・障がい者について

【主な課題】

- 近所の高齢者や障がい者を知らない。
- 地域の見守り活動の充実が必要。
- 憩いの家やサロンの工夫が必要。 などのご意見があげられました。

【みんなで考えよう】

⇒ **近所の高齢者や障がい者を知る方法や機会を考えよう！**

～ 知るために、どのような方法や機会があるとよいと思いますか？ ～

⇒ **憩いの家やサロンのあり方を考えよう！**

～ どのような運営の工夫があるとよいと思いますか？ ～

(2)-1 近所の方を知る方法や機会を考えよう

短期間（半年）民生委員の様な仕事をする。	組長と民生委員を兼ねる。半年周期。	年齢を区別せず、あらゆる年代が集まる場所にする。	近所の高齢者人数を調べ、訪問にて趣味を聞いて話し合う。
要介護者支援制度の活発化を充実。	民生・児童委員と老人クラブとコンタクトを密にする。	老人クラブに入会しよう。	老人会入会で多くの人と知ることができた。
声掛けについて、町内・組でリスト作りをすすめる。	自治会の組別に年に一度か二度、集会をやりたい。	憩いの家の開催日を老人だけでなく、誰でもは入れるようにする。	

(2)-2 憩いの家やサロンのあり方を考えよう

老人クラブと子ども会、婦人会と子ども会 老人クラブと婦人会のような交流を考える。	憩いの場所で、くつろげる環境をつくる。	趣味ごと日を指定し、サロンを利用する。
	憩いの家をみんなが楽しく遊べる施設にする。 (例：カラオケ等)	憩いの家開催日ごとに、囲碁・麻雀・将棋・料理・手芸の日を設ける。

(3) 防犯・防災について

【主な課題】

- 夜、暗い場所があり、パトロールが必要。
- 防犯・防災の危機意識が薄い。
- 防災訓練に多くの人に参加してほしい。 などのご意見があげられました。



【みんなで考えよう】

⇒ **さらなる充実に向けて、防犯パトロールを考えよう！**

～ どのような防犯パトロールがあるとよいと思いますか？ ～

⇒ **多くの人に参加しやすい防災訓練を考えよう！**

～ どのような防災訓練があるとよいと思いますか？ ～

(3)-1 防犯パトロールのあり方を考えよう

指示で手分けして24時間パトロールを願います。	各家庭にセンサー付き防犯灯の設置。町内ごとに青パトを設置、青パトによるパトロール。	ゲーム感覚で出来る防災訓練を考える。	狭い道が多く交通安全ミラーの充実。
パトタッチ方式のパトロール。	組ごと期間を設け、パトロール。	親子による定期的なクリーンクリーンキャンペーン。	防犯カメラを設置する。
多くの参加者で、自宅近くだけでも周る。	防犯パトロールを交代で行う（例：組別組み合わせ）ボランティア。	青パトの採用 定期的なパトロール。	比較的時間の余裕のある老人クラブを活用する。
50年ころ前にやっていた火の用心、町内めぐり復活。	杖・笛を持ちパトロールする。	一軒一灯を続ける。	一軒一灯運動推進を更に多くに。

(3)-2 参加しやすい防災訓練を考えよう

自宅からどのように逃げ出すか、訓練が必要。	小中学校御霊としての防災訓練の合同実施。	町内運動会に、防災訓練を取り入れる。
家族で参加した方には特別なノベルティを差し上げる。	興味有る・無しに関わらず、組別に何人かを参加させる。	参加回数により表彰する。
		防災訓練情報が聞こえるように無線を新設する。

(4) 外国人について

【主な課題】

- 言葉がわからない。
- 知り合う機会が少ない。
- 第一印象が少し怖く感じる。などのご意見があげられました。



【みんなで考えよう】

⇒ **国籍を超えて、誰もが参加しやすい地域行事を考えよう!**
～ どのような地域行事があるとよいと思いますか? ～

(4)-1 国籍を超えた地域行事を考えよう

会に関する行事を行う。
野外食。

あいさつをしよう。

外国人も盆踊り、祭り等
に参加し、ともに楽しめ
ると良い。

英会話・日本語教室。

外国人教育の実施及び
充実。
自転車乗り
自転車の違法運転。

見かけたらまずあいさ
つから。

